

桃太郎がんメディカルカフェ・がん哲学外来

6月1日(月)にがん哲学外来in桃太郎がんメディカルカフェを開催しました。

がん哲学外来の提唱者であり順天堂大学医学部病理・腫瘍学教授である樋野興夫先生をお招きし、当日は3名の方に哲学外来を受けていただくことが出来ました。樋野先生より、「がんになった境遇は選べないが、自分の生き方は選べる」「人生の夕暮れ時に光があれば、喜びが湧き出て心も顔つきも変わる。すると周囲も変わり、豊かになる」とがんと共に生きるための考え方を教示いただいた後、患者さん、ご家族をはじめ医師や看護師、医療ソーシャルワーカー、学生も一参加者としてグループに加わり、30名が小グループに分かれテーブルを囲んで語り合いました。参加者の方からは「治療先の病院やがんの種類が違って悩んでいる事は同じ。思いが共有できてよかった。」と感想が寄せられました。

今回は10月7日(水)の予定です。詳細につきましては総合患者支援センターまでお問い合わせください。
(直通:086-235-7744、平日9~17時)



*2015.6.19毎日新聞朝刊にがんメディカルカフェの様子が紹介されました。

2015年度第1回ボランティア研修会(6/18)

当院では、患者さんが安心して受診、入院生活を送っていただくために、病院ボランティアが活動しています。外来案内、患者図書室、小児科病棟、園芸の活動があります。

ボランティア研修会は年3回開催しており、今回は「患者さんの気持ちに寄り添うボランティア活動」をテーマに、前川珠木副病院長が講義をしました。病むことや入院することは、非日常的なことであり、改めて患者さんへの配慮、気配り、気遣いの大切さについて伝えられました。ボランティアの存在価値は、より「患者・利用者」に近い目線で、日常と非日常をつなぐ架け橋という重要な役割があることをお話されました。

研修会後、患者図書室で活動しているボランティアの方は、患者図書室での緊急時の対応、火災時の避難について病院職員から講習を受けました。



図書ボランティア活動の紹介

入院棟11階、市街が一望できるベストスポットに患者図書室があります。医療図書の他にも一般図書、児童書などをそろえており、パソコンも設置していますので病気のことを調べたり自己学習にも利用していただけます。



患者図書室を運営しているのはボランティアの方で、本の貸し出し・返却作業を行っています。また、話題の本や闘病記、おすすめの本をディスプレイしたり、閲覧コーナーをよりくつろげるようレイアウトし、静かな空間でゆったりと過ごすことができるよう工夫しています。

開室時間 平日10~15時

小児科病棟に絵本などをお届けする移動図書も行っています。



総合患者支援センターニュース

〒700-8558
岡山市北区鹿田町2丁目5番1号
岡山大学病院
総合患者支援センター
☎086-223-7151 (代表)
☎086-235-7744 (直通)

Integrated Support Center for Patients and Self-learning
Okayama University Hospital



センターの活動に関してはホームページ
(<http://www.cc.okayama-u.ac.jp/>)
をご覧ください。

総合患者支援センターの業務について

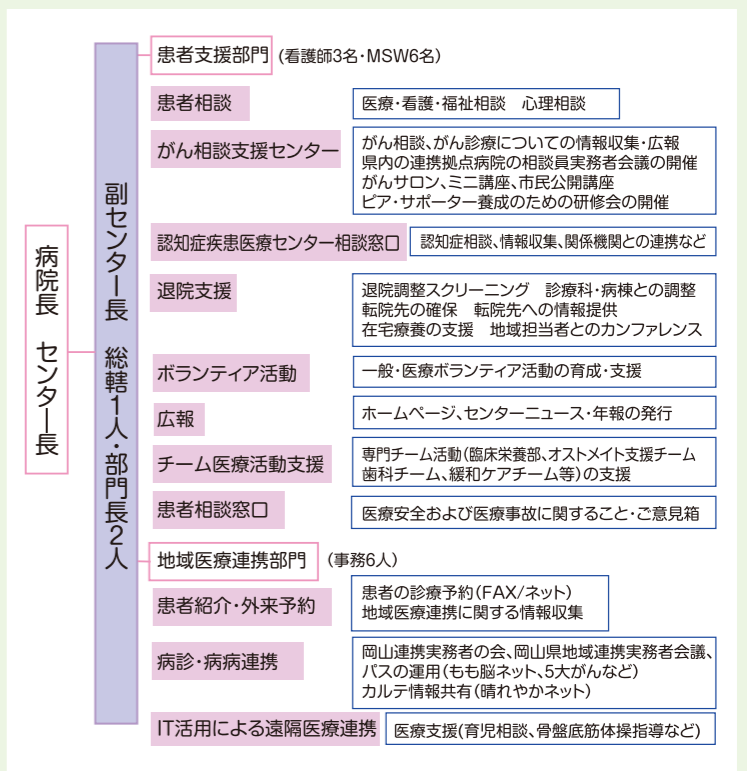
今回は原点にかえり、総合患者支援センターの組織、役割について説明します。

センターは2003年4月、院内・院外様々な立場から継続的に患者様に質の高いケアを提供することを目的に立ち上がりました。設立当初は現在の患者支援部門が担っている業務の一部がまず開始となり、徐々に業務を拡大しながら、2008年に地域医療連携室が統合され、2011年に患者支援部門、地域医療連携室部門が病院執行部直轄の組織となりました(下図)。

患者支援部門は、医療・看護・福祉といった患者相談、がん診療連携拠点病院に設置されているがん相談支援センターとしての業務、退院支援を主な業務として活動しています。他に当院が岡山県認知症疾患医療センターの指定を受けておりますので、その相談窓口も担っています。患者図書室、園芸、外来案内、小児への読み聞かせ、オストメイトサロンなどで活動して下さっている約100名の一般・医療ボランティアの方々の育成・支援もセンター業務の一つです。ホームページや年報、センターニュースによる広報活動、専門チーム(臨床栄養部、オストメイト支援チーム、保健学研究科、歯科チーム)活動の支援、患者相談窓口、院内催事などもあります。外来棟1階のスターバックス近くにある総合患者支援センター(患者支援部門)で、ソーシャルワーカー6名と看護師3名が各種相談(650-800件/月)に応じています。

地域医療連携部門は、医事課の中に席を構え事務職員6名が対応しています。主な業務は1日約50件ほどある初診FAX予約の受付、予約変更センター窓口、セカンドオピニオンの受け入れ、患者さん等からのカルテ開示対応窓口、地域の病院・診療所・当院のカルテが閲覧できる晴れやかネットの院内窓口、脳卒中や5大がんに関するパスの運用などです。

次回のセンターニュースからはシリーズで各業務・活動内容を詳しく紹介していく予定です。総合患者支援センターのことをさらに知っていただくことで、患者さんのご利用に繋がればと思います。



地域医療連携部門からのお知らせ

岡山大学病院から各医療機関への外来受診予約申込みをさせていただく新たな仕組みが、システムとして出来ましたので紹介させていただきます。

当院から患者さんの予約を取得させていただく際、各医療機関の予約取得担当(地域連携担当)宛に、下記様式「逆紹介患者事前申込用紙」をFAX送信させていただきます。予約取得が出来ましたら、当院の地域連携室まで、予約票の返信をお願いいたします。地域連携室を通して、各診療科・医師に連絡させていただきます。

「逆紹介患者事前申込用紙」(様式)

The form includes sections for:

- 患者情報 (Patient Information): Name, sex, date of birth, insurance details.
- 希望診療科・医師 (Desired Department/Doctor): Selection of specialty and doctor.
- 希望日時 (Desired Date/Time): Selection of date and time slot.
- 紹介目的 (Referral Purpose): Inpatient, outpatient, or pre-consultation.
- アレルギー (Allergies): List of known allergies.
- 既往歴 (Past History): List of previous medical conditions.
- 保険情報 (Insurance Information): Health insurance details.

患者さんへの迅速な医療支援を、地域の医療機関の皆さんと共に進めていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。



地域連携室のスタッフ



患者支援部門からのお知らせ

患者支援部門スタッフのユニホームができました。今まで以上にチームワークを発揮してがんばります。



患者支援部門のスタッフ

ニューフェイス紹介



4月22日より、総合患者支援センターに配属になりました副看護師長の野口史子です。今までに、旧東6(腎代謝糖尿・膠原病、循環器内科)、EICU、内科外来、西7病棟、東8病棟と経験してきました。様々な関連部署と連携をとりながら、患者さんが何を大切にしているかを汲み取り、思いに添えるような退院支援、継続看護をしていきたいと思ひ、日々学んでいます。どうぞよろしくお願いいたします。

退院支援で連携している院内のチーム紹介 ～緩和ケアチーム～

岡山大学病院は単に病気を治すことのみにとどまるのではなく、病をもつ患者様とご家族の様々なつらさも同時に治療し、生活の質を向上させることを目指しています。

緩和ケアチームは、緩和ケア医師をはじめ、精神腫瘍科・歯科・放射線科・麻酔科等の専門医師や看護師・薬剤師・ソーシャルワーカー・臨床心理士・栄養士・リハビリ・歯科衛生士等多くの分野の専門家が協働して入院中の患者様や外来通院中の患者様の診療を行っています。

痛みや吐き気など身体のつらい症状があると、生活にも支障を来しますし、気持ちも落ち込みます。治療を続ける中、仕事や家族の問題や、治療選択・今後の事をきめるなど決断をせまられる事が増えてきます。そういった身体やこころのつらさを緩和したり、日常生活で困っていることの相談を受けたり、少しでも自分らしい生活が続けられるようにサポートするのが緩和ケアです。決して終末期だけのケアではありません。特に生活面や経済的な問題、転院調整などは総合患者支援センターと連携をとりながら支援させていただいています。ご自身がどうしたいのか、何を大切にしているのかを伝えていただき、みんなで一番いい方法を一緒に考えていきたいと思ひます。



「歯っぴいスマイル2015～笑顔につながるお口の健康～」 イベント報告



2015年6月4日(木)まさに「歯と口の健康週間初日」に岡山大学病院では、お口の健康に関心を持ってもらうため、市民のみなさんを対象にイベントを開催いたしました。毎年恒例の「歯科衛生士による体験ブラッシングコーナー」では予約制の30枠がすぐにいっぱいになってしまうほどの盛況ぶりでした。ミニ公開講座では、会場の皆さまから積極的な質問もあり、口腔への関心の高さをうかがわせるものがありました。

今年は、ラジオの生中継が入ったり、テレビの取材が来たり、と賑やかなイベントとなりました。

ぬり絵コンテストあり、チェロのコンサートあり等、小さなお子様から年配の方々まで楽しめるたくさんの企画を用意し開催いたしました。また来年も行う予定ですので、是非みなさま多くの方のご参加をお待ちしております。

